mectron
medical technology

ピエゾーサージェリー®

PIEZOSURGERY®

取扱説明書

CE 0476

05.5 - 保護システムとエラーメッセージ

装置に異常があった場合、保護システムが作動し、ディスプレイに下記のエラーメッセージが表示されます。
その場合は、取扱店に連絡し、対応してください。

ERR 0 一旦、電源をOFFにし再度ONにします。

ERR 1 全般的な保護システム作動：
- ハンドピースの本体への接続不良.
- チューニング回路の誤作動.
- ハンドピースの故障.

ERR 2 全般的な保護システム作動：
- ハンドピースの本体への接続不良.
- チューニング回路の不正確な作動.
- ハンドピースの故障.

ERR 3 メーカーのみ対応可能

ERR 4 全般的な保護システム作動：
- チューニング回路の不正確な作動.
- ハンドピースの故障.

ERR 5 チューニングスキャンの不調：
- チップのハンドピースへの装着不良.
- チップの破損、変形.
- 電気接触部の濡れ.

ERR 6 「電力の過供給」による、保護システム作動。

ERR 8 スケーラーモジュールとの信号伝達に関するエラー。

ERR 9 ポンプ動作に関するエラー：
- ポンプ内にポンプチューブが正しく装着されているか確認してください。
- ポンプの回らない状態になっていないか確認してください。

ERR CKS ファームウェア、ファームウウェア検査の不具合。

※機器が動作していても至急ご連絡ください。

12.0 - トラブルシューティング

装置が正常に作動しない場合は、本取扱説明書を再度お読みいただき、また下記を確認してください。

症状	原因	解決策
電源スイッチをONにしても装置が起動しない。	電源コード端のコネクターが、本体後ろにあるソケットに正しく挿入されていない。	電源コードが確実に挿入されているか確認する。
	電源コードの故障。	電気コンセントが正常であることを確認し、ケーブルを交換する。
	ヒューズの溶断。	「ヒューズの交換について」の項を参照し、ヒューズを交換する。
電源がONであるのに、作動しない. またディスプレー上に、エラー表示がでない。	フットペダルのコネクターが正しくソケットに挿入されていない。	フットペダルのコネクターをソケットに正しく再挿入する。
	フットペダルの不具合。	㈱インプラテックスへ問い合わせる。
使用中、ハンドピースより笛のような音がかすかに聞こえる。	チップがハンドピースに正しく装着されていない。	一旦チップを取り外し、正確にハンドピースへ再装着する。
電源をONにしても、動作せず、ディスプレイには「**ERR**」と表示される。	チップがハンドピースに正しく接触していない。	一旦チップを取り外し、正確にハンドピースへ再装着する。
	チップが磨耗、破損、変形している。	チップを交換する。
	コードのコネクター部が濡れている。	コネクター部を乾燥させる。

症状	原因	解決策
電源をONにしても、動作せず、ディスプレイには「**ERR**」と表示される。	ハンドピースのコードが正しく本体に装着されていない。	ハンドピースのコードを正確に本体に再装着する。
	コードの断線。	㈱インプラテックスへ問い合わせる。
	ハンドピースの故障。	㈱インプラテックスへ問い合わせる。
	チューニング回路の誤作動。	㈱インプラテックスへ問い合わせる。
動作中、チップから注水されない。	注水機能がないタイプのチップを使用している。	注水機能のあるタイプのチップを使用する。
	ポンプ流量を0に設定している。	本体前面のポンプ機能用+ボタンで流量を調整する。
	生食ボトルが空になっている。	生食ボトルを交換する。
	ディスチャージのドリップチャンバーにある通気孔が開いていない。	ドリップチャンバーにある通気孔を開く。
	ディスチャージのチューブが正しくポンプ内に装着されていない。	チューブの装着状態を確認する。
	チップの注水孔が詰まっている。	チップの注水孔を水が通るよう開放する。
	ハンドピースの注水孔が詰まっている。	㈱インプラテックスへ問い合わせる。

症状	原因	解決策
ハンドピース等の動作は正常だが、ポンプがスムーズに動作しない。	ポンプ可動部がポンプチューブを強く押しすぎている。	ポンプチューブが正しくポンプに装着されているか確認する. （P.11 04.3 参照）
ポンプは正常に回転するが、停止した際に、ハンドピースから水が出てくる。	ポンプの扉が確実に閉じていない。	ポンプの扉が確実に閉じているか確認する。 （P.11 04.3 参照）
切削能力が弱い。	チップがハンドピースに正しく装着されていない。（ディスプレイには「**ERR**」と表示される。）	一旦チップを取り外し、正確にハンドピースへ再装着する。
	チップが磨耗、破損、変形している。（ディスプレイには「**ERR**」と表示される。）	チップを交換する。
	チップのメンテナンスが不十分。	（P.19 05.7を参照）